

楽しむ

「川根茶の日」を記念してイベント

立春から七十七夜の4月21日は「川根茶の日」として制定されています。

これを記念して川根お茶街道推進協議会と島田市茶業振興協会川根支部が共催で川根茶をPRするイベントを川根温泉駐車場で開催しました。

今年「お茶をテーマにのんびり1日！みんな集まれ」と掲げました。

会場では、川根茶の呈茶のほか、川根茶を使った料理・スイーツの試食、手揉み茶体験、お茶の葉を入れた餅つきなどが行われ、多くの観光客で賑わいました。笹間神楽と赤石太鼓も会場を盛り上げました。



川根茶を使った料理やスイーツの試食



茶娘が全国茶品評会入賞茶を振る舞う

学ぶ

修学旅行先で茶農家から学ぶ

筑波大学附属中学校（東京都）の生徒41人が修学旅行のプログラムの一つとして、本町茶農家を訪問しました。

この訪問は今年で3年目とのこと。8班それぞれが茶農家を訪問し、茶摘みを体験する予定でしたが、あいにくの雨となり、室内で学びました。

こだわりのいれ方で提供された各茶農家自慢のお茶を飲みながら生産者の説明を熱心に聞いていました。

普段はペットボトルのお茶を飲む機会が多い生徒たち。「お茶がおいしい」「初めての味」などと驚き、「本物」を知った喜びが聞かれました。



相藤園（藤川）にて



シャンパングラスで試飲提供

川根茶と暮らす

魅力発信

生産者の情熱を知る「川根茶縁喫茶」

川根茶縁喫茶とは本町に縁あつてお越しいただいた皆さまに、本町自慢の「川根茶」を飲んでいただくという企画です。生産者と消費者をつなぐ狙いもあります。

自園自製で上質なお茶を育てることに、日々情熱を注いで頑張っている茶農家が丹精を込めて作り上げたお茶を無料で振る舞います。



NHK「しずおか情報ランチ」キャスターの小林千鶴（ちずる）さんが取材に訪れましたよ。

茶農家の皆さんの「生の声」を聞くことができる。ともに、こだわりを知ることができる絶好のチャンスですよ。

現在、開縁しているのは6茶園。6月は第2土曜日と第3日曜日を中心に開縁する予定。
開縁情報は企画課まちづくり室 ☎（56）2221まで。

お茶を愛する心は地域を愛する心

本町の基幹産業の一つであるお茶。こどもからお年寄りまで「お茶を飲まない日はない」と言い切れるほど、お茶を愛しています。だからこそ、味・香・産地の誇り―すべてに「こだわり」と「愛」を持ってお茶と暮らしています。

3月に県茶業農産課が発行した『お茶白書』の「平成23年お茶の10大ニュース」でも取り上げられているように、本町のお茶は昨年の「全国茶品評会普通煎茶10kgの部」において、つちや農園土屋鉄郎さん（水川）、丹野園丹野浩之さん（水川）が農林水産大臣賞

を受賞。本町は産地賞に輝きました。今年も連続受賞を目指し取り組みんでいます。

そしてこの栄冠を全国に発信し、川根茶の販路拡大を目指すための市場開発調査推進事業も進められています。

昨年の放射性セシウムの検出問題では静岡茶業界も打撃を受けました。本町でも茶の安全を確認する態勢を整え、信頼できるお茶の提供に努めています。

お茶を愛する心は地域を愛する心と同じです。そして本当に「うまいものはうまい」ということ。今日も川根茶で一服しましょうよ。



市場開発調査推進事業の一環として作成されたポスター。関東地方を中心にPRしています。